

横須賀市病院事業会計予算

令和5年度横須賀市病院事業会計予算

(総 則)

第1条 令和5年度横須賀市病院事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

1 市民病院事業

(1) 病 床 数	482床	
一 般 病 床	476床	
感染症病床	6床	
(2) 年間患者数		
入院	75,030人	
外来	117,200人	
(3) 一日平均患者数		
入院	205人	
外来	400人	
(4) 主要な建設改良事業		
建物改修		268,800千円
有形固定資産購入		103,260千円

2 うわまち病院事業

(1) 病 床 数	417床	
一 般 病 床	367床	
療 養 病 床	50床	
(2) 年間患者数		
入院	109,434人	
外来	140,933人	
(3) 一日平均患者数		
入院	299人	
外来	481人	
(4) 主要な建設改良事業		
有形固定資産購入		258,756千円
新市立病院建設事業		5,794,036千円

(収益的收入及び支出)

第3条 収益的收入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入	
第1款 市民病院事業収益	712,000千円
第1項 医 業 収 益	410,550千円
第2項 医 業 外 収 益	300,450千円
第3項 特 別 利 益	1,000千円
第2款 うわまち病院事業収益	1,150,000千円
第1項 医 業 収 益	295,801千円
第2項 医 業 外 収 益	853,199千円
第3項 特 別 利 益	1,000千円
合 計	1,862,000千円
支 出	
第1款 市民病院事業費用	744,000千円
第1項 医 業 費 用	726,749千円
第2項 医 業 外 費 用	15,251千円
第3項 特 別 損 失	1,000千円
第4項 予 備 費	1,000千円
第2款 うわまち病院事業費用	642,000千円
第1項 医 業 費 用	566,415千円
第2項 医 業 外 費 用	73,585千円
第3項 特 別 損 失	1,000千円
第4項 予 備 費	1,000千円
合 計	1,386,000千円

(資本的收入及び支出)

第4条 資本的收入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的收入額が資本的支出額に対し不足する額288,700千円は、過年度分損益勘定留保資金78,876千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額209,824千円で補てんするものとする。）。

収 入	
第1款 市民病院資本的收入	488,300千円
第1項 企 業 債	369,300千円
第2項 出 資 金	119,000千円
第2款 うわまち病院資本的收入	6,146,000千円
第1項 企 業 債	6,041,000千円
第2項 出 資 金	105,000千円
合 計	6,634,300千円

支 出

第1款 市民病院資本的支出	601,000千円
第1項 建設改良費	372,060千円
第2項 企業債償還金	228,940千円
第2款 うわまち病院資本的支出	6,322,000千円
第1項 建設改良費	6,120,990千円
第2項 企業債償還金	201,010千円
合 計	6,923,000千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

(単位 千円)

事 項	期 間	限 度 額
うわまち病院事業 有形固定資産購入	令和6年度から 令和7年度まで	5,021,930

(企 業 債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

(単位 千円)

起 債 の 目 的	限 度 額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法
市 民 病 院 建物改修費に充当	268,800	普通貸借又は証券発行	8.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	政府資金についてはその融資条件により、その他の場合には借入れの日から据置期間を含め、30年以内に償還する。ただし財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は本議決の範囲内で未償還額を借換えすることができる。事業の進捗等により起債額の全部又は一部を翌年度に繰越しあるいは限度額の範囲内において一時借入金又は短期債を起こすことができる。
市 民 病 院 有形固定資産購入費に充当	100,500			
う わ ま ち 病 院 有形固定資産購入費に充当	247,000			
う わ ま ち 病 院 新市立病院建設事業費に充当	5,794,000			

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、次のとおりと定める。

1 市民病院事業	600,000千円
2 うわまち病院事業	600,000千円

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

1 市民病院事業

(1) 予定支出の各項間の経費

2 うわまち病院事業

(1) 予定支出の各項間の経費

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、これらの経費の金額を、これらの経費のうち他の経費の金額に、若しくはこれら以外の経費の金額に流用し、又はこれら以外の経費をこれらの経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

1 市民病院事業

(1) 職員給与費 38,865千円

(2) 交際費 50千円

2 うわまち病院事業

(1) 職員給与費 107,063千円

(2) 交際費 50千円

(他会計からの補助金)

第10条 事業助成のため一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、次のとおりである。

1 市民病院事業 7,000千円

2 うわまち病院事業 7,000千円

(重要な資産の取得)

第11条 重要な資産の取得は、次のとおりとする。

1 うわまち病院事業

種類	名称	数量
医療機械	放射線治療装置	1
医療機械	MR I 装置	2
医療機械	MR I ガイド下集束超音波治療器	1
医療機械	血管撮影装置	2
医療機械	血管撮影装置 (I V R - C T)	1
医療機械	ハイブリッド血管撮影装置	1
医療機械	C T 撮影装置	2
医療機械	P E T - C T 装置	1
医療機械	S P E C T - C T 装置	1
医療機械	内視鏡手術支援ロボット	1

種 類	名 称	数 量
機 械 備 品	電話交換機	1
機 械 備 品	ネットワークシステム	1

令和5年2月14日提出

横須賀市長 上 地 克 明

令和5年度横須賀市病院事業会計予算実施計画

収益的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 事業収益	1 医業収益		712,000	
			410,550	
		1 他会計 負担金	391,000	一般会計負担金
	2 医業外収益	2 その他 医業収益	19,550	診断書料ほか
			300,450	
		1 受取利息	13	預金利息
		2 補助金	20,279	国庫補助金、県補助金
		3 他会計 補助金	7,000	一般会計補助金
		4 他会計 負担金	196,000	一般会計負担金
		5 長期前受金 戻 入	28,010	長期前受金収益化額
		6 その他 医業外収益	14,690	雑収入
		7 雑 収 益	34,458	還付消費税及び地方消費税
	3 特別利益		1,000	
		1 過年度損益 修正 益	1,000	過年度収入

款	項	目	予定額	備 考
2 うわまち病院 事業収益	1 医業収益		1,150,000	
			295,801	
		1 他会計 負担金	273,000	一般会計負担金
	2 医業外収益	2 その他 医業収益	22,801	診断書料ほか
			853,199	
		1 受取利息	40	預金利息
		2 補助金	17,665	国庫補助金
		3 他会計 補助金	7,000	一般会計補助金
		4 他会計 負担金	125,000	一般会計負担金
		5 長期前受金 戻 入	41,253	長期前受金収益化額
		6 その他 医業外収益	158,808	指定管理者負担金、雑収入
		7 雑収益	503,433	還付消費税及び地方消費税
	3 特別利益		1,000	
		1 過年度損益 修正 益	1,000	過年度収入
合 計			1,862,000	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 事業費用			744,000	
	1 医業費用		726,749	
		1 給 与 費	38,865	給料、手当等ほか
		2 経 費	183,189	施設及び設備修繕費ほか
		3 減価償却費	497,195	有形固定資産償却費
		4 資産減耗費	7,500	固定資産除却費
	2 医業外費用		15,251	
		1 支 払 利 息 及び企業債 取 扱 諸 費	14,322	企業債利息ほか
		2 雑 損 失	929	
	3 特別損失		1,000	
		1 過年度損益 修 正 損	1,000	過年度支出
	4 予 備 費		1,000	
		1 予 備 費	1,000	

款	項	目	予定額	備 考
2 うわまち病院 事業費用	1 医業費用		642,000	
			566,415	
		1 給 与 費	38,865	給料、手当等ほか
		2 経 費	174,028	施設及び設備修繕費ほか
	2 医業外費用	3 減価償却費	346,022	有形固定資産償却費
		4 資産減耗費	7,500	固定資産除却費
			73,585	
		1 支 払 利 息 及び企業債 取 扱 諸 費	26,571	企業債利息ほか
	3 特別損失	2 雑 損 失	47,014	消費税及び地方消費税雑損失ほか
			1,000	
		1 過年度損益 修 正 損	1,000	過年度支出
	4 予 備 費		1,000	
		1 予 備 費	1,000	
合 計			1,386,000	

資本的収入及び支出

収 入

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 資本的収入			488,300	
	1 企業債		369,300	
		1 企業債	369,300	建物改修、有形固定資産購入
	2 出資金		119,000	
		1 一般会計 出資金	119,000	
2 うわまち病院 資本的収入			6,146,000	
	1 企業債		6,041,000	
		1 企業債	6,041,000	有形固定資産購入、新市立病院建設事業
	2 出資金		105,000	
		1 一般会計 出資金	105,000	
合 計			6,634,300	

支 出

(単位 千円)

款	項	目	予定額	備 考
1 市民病院 資本的支出			601,000	
	1 建設改良費		372,060	
		1 建物改修費	268,800	市民病院東棟外壁改修工事、市民病院東棟冷温水管改修工事、市民病院空調設備改修工事
		2 有形固定 資産購入費	103,260	医療機械購入費
	2 企業債 償還金		228,940	
		1 企業債 償還金	228,940	病院改修事業費公債ほか
2 うわまち病院 資本的支出			6,322,000	
	1 建設改良費		6,120,990	
		1 給 与 費	68,198	給料、手当等ほか
		2 有形固定 資産購入費	258,756	医療機械購入費
		3 新市立病院 建設事業費	5,794,036	新市立病院建設事業
	2 企業債 償還金		201,010	
		1 企業債 償還金	201,010	病院改修事業費公債ほか
合 計			6,923,000	

令和5年度横須賀市病院事業予定キャッシュ・フロー計算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

(1) 当年度純損失	△62,152
(2) 減価償却費	843,217
(3) 資産減耗費	15,000
(4) 退職給付引当金の増加額	16,620
(5) 賞与引当金の減少額	△344
(6) 法定福利費引当金の減少額	△47
(7) 長期前受金戻入額	△69,263
(8) 受取利息	△53
(9) 支払利息及び企業債取扱諸費	30,243
(10) 未収金の増加額	△408,295
(11) 未払金の増加額	1,306,939
(12) 未払費用の増加額	<u>2,006</u>
小計	1,673,871
(13) 利息の受取額	53
(14) 利息及び企業債取扱諸費の支払額	<u>△30,381</u>
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,643,543

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

(1) 有形固定資産の取得による支出	<u>△5,908,897</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,908,897

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

(1) 建設改良等の財源に充てるための企業債による収入	6,410,300
(2) 建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△429,949
(3) 他会計からの出資による収入	<u>224,000</u>

財務活動によるキャッシュ・フロー	6,204,351
4 資金増加額	1,938,997
5 資金期首残高	<u>6,119,229</u>
6 資金期末残高	<u><u>8,058,226</u></u>

給 与 費 明 細 書

1 総 括

(単位 千円)

区 分			職 員 数		給 与 費				法 定 福利費	合 計
			特別職 (人)	一般職 (人)	報 酬	給 料	手 当	計		
本 年 度	損益勘定 支弁職員	市民病院	8	6	208	12,846	20,012	33,066	5,039	38,105
		うわまち病院			208	12,846	20,012	33,066	5,039	38,105
	資本勘定 支弁職員	市民病院		7						
		うわまち病院				29,038	26,453	55,491	11,147	66,638
	合 計	市民病院	8	13	208	12,846	20,012	33,066	5,039	38,105
		うわまち病院			208	41,884	46,465	88,557	16,186	104,743
前 年 度	損益勘定 支弁職員	市民病院	8	6	104	12,738	18,586	31,428	4,960	36,388
		うわまち病院			104	12,738	18,586	31,428	4,960	36,388
	資本勘定 支弁職員	市民病院		7						
		うわまち病院				30,150	27,651	57,801	12,052	69,853
	合 計	市民病院	8	13	104	12,738	18,586	31,428	4,960	36,388
		うわまち病院			104	42,888	46,237	89,229	17,012	106,241
比 較	損益勘定 支弁職員	市民病院	0	0	104	108	1,426	1,638	79	1,717
		うわまち病院			104	108	1,426	1,638	79	1,717
	資本勘定 支弁職員	市民病院		0						
		うわまち病院				△1,112	△1,198	△2,310	△905	△3,215
	合 計	市民病院	0	0	104	108	1,426	1,638	79	1,717
		うわまち病院			104	△1,004	228	△672	△826	△1,498

※ 1 手当には、退職給付費及び賞与引当金繰入額を含む。

※ 2 法定福利費には、法定福利費引当金繰入額を含む。

(単位 千円)

手当の内訳	区 分		扶 養 手 当	地 域 手 当	期末、勤勉 手 当	管理職手当	時間外勤務 手 当
	本 年 度	市 民 病 院	745	1,441	5,990	810	1,686
		うわまち病院	2,615	4,706	19,210	2,550	5,697
	前 年 度	市 民 病 院	745	1,430	6,151	810	1,689
		うわまち病院	2,677	4,813	19,876	2,550	6,015
	比 較	市 民 病 院	0	11	△161	0	△3
		うわまち病院	△62	△107	△666	0	△318
	区 分		退 職 手 当	通 勤 手 当	住 居 手 当		
	本 年 度	市 民 病 院	8,310	324	706		
		うわまち病院	8,310	1,153	2,224		
	前 年 度	市 民 病 院	6,732	324	705		
		うわまち病院	6,732	1,153	2,421		
	比 較	市 民 病 院	1,578	0	1		
		うわまち病院	1,578	0	△197		

※ 期末、勤勉手当には、賞与引当金繰入額を含む。

備考 病院事業会計の職員は、全て会計年度任用職員以外の職員

2 給料及び手当の増減額の明細

(単位 千円)

区分	増減額	増減事由別内訳	説明	備考
給料	△896	1. 昇給に伴う増加分	780	平均昇給率 1.3%
		2. その他の増減分	△1,676	人事異動新陳代謝等に伴う増減分 △1,676
手当	1,654	1. 制度改正に伴う増減分	573	期末、勤勉手当 573 年間支給率(月分)の状況 本年度 4.4月分 前年度 4.3月分 増減 0.1月分
		2. その他の増減分	1,081	扶養手当 △62 地域手当 △96 期末、勤勉手当 △1,400 時間外勤務手当 △321 退職手当 3,156 住居手当 △196

3 給料及び手当の状況

(1) 職員1人当たり給与

区分		一般職	区分		一般職
5年1月1日現在	平均給料月額	337,131円	4年1月1日現在	平均給料月額	336,815円
	平均給与月額	430,979円		平均給与月額	432,542円
	平均年齢	44歳11月		平均年齢	42歳9月

(2) 初 任 給

区 分	学 歴	一 般 職
市	大学卒	194,900円
	高校卒	165,300円
国の制度	大学卒	総合職 189,700円 一般職 185,200円
	高校卒	一般職 154,600円

(3) 級別職員数

区 分	一 般 職			区 分	一 般 職		
	級	職員数 (人)	構成比 (%)		級	職員数 (人)	構成比 (%)
5 年 1 月 1 日 現 在	8 級			4 年 1 月 1 日 現 在	8 級		
	7 級	1	7.7		7 級	1	7.7
	6 級	1	7.7		6 級	1	7.7
	5 級	2	15.4		5 級	2	15.4
	4 級	1	7.7		4 級	2	15.4
	3 級	6	46.1		3 級	5	38.5
	2 級	2	15.4		2 級	2	15.4
	1 級				1 級		
	計	13	100.0		計	13	100.0

※構成比欄の数字は、表示単位未満を四捨五入しているため、計に符合していない。

(級別の基準となる職務)

区 分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級
一般職	補助的又は定型的な業務を行う担当者	担当者	相当高度な知識経験を必要とする担当者	係長及び主査	相当高度な知識経験を必要とする係長及び主査	課 長	相当高度な知識経験を必要とする課長	部 長

(4) 昇給

区 分			一 般 職
本 年 度	職 員 数 (A) (人)		13
	昇給に係る職員数 (B) (人)		12
	号給数別内訳	1号給 (人)	
		2号給 (人)	
		3号給 (人)	2
		4号給 (人)	10
	比 率 (B) / (A) (%)		92.3
前 年 度	職 員 数 (A) (人)		13
	昇給に係る職員数 (B) (人)		13
	号給数別内訳	1号給 (人)	
		2号給 (人)	1
		3号給 (人)	2
		4号給 (人)	10
	比 率 (B) / (A) (%)		100

(5) 期末手当・勤勉手当

区 分	支 給 期 別 支 給 率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の 級等による 加 算 措 置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
本 年 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	
前 年 度	2.15 (1.125)	2.15 (1.125)	4.3 (2.25)	有	
国 の 制 度	2.2 (1.15)	2.2 (1.15)	4.4 (2.3)	有	

※支給期別支給率欄及び支給率計欄の()内の数字は、再任用職員の支給率

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続の者 (月分)	25年勤続の者 (月分)	35年勤続の者 (月分)	最 高 限 度 (月分)
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709
国 の 制 度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709

(7) 地域手当

区 分	一 般 職
支給対象地域	全 地 域
支給率 (%)	10
支給対象職員数 (人)	13
国の指定基準に 基づく支給率(%)	10

(8) 特殊勤務手当

区 分	一 般 職
給料総額に対する比率 (%)	0
支給対象職員の比率 (%) (5年1月1日現在)	0
代表的な特殊勤務手当の名称	-

(9) その他の手当

区 分	市	国
扶 養 手 当		
配 偶 者	7,700円	6,500円
配偶者以外の扶養親族	子 10,100円 父母等 7,700円	子 10,000円 父母等 6,500円
配偶者のない職員の 扶養親族のうち1人	子 11,600円 父母等 7,700円	子 10,000円 父母等 6,500円
扶養親族でない配偶者が ある場合のうち1人	子 10,100円 父母等 7,700円	子 10,000円 父母等 6,500円
満16歳の年度初めから満22 歳の年度末までの子(加算)	5,500円	5,000円
住 居 手 当	30,300円を限度	28,000円を限度
通 勤 手 当	55,000円を限度 (片道2km未満を除く。)	55,000円を限度 (片道2km未満を除く。)

継 続 費 に

款	項	事 業 名	全 体 計 画			
			年度	年 割 額	左 の 財 源 内 訳	
					企 業 債	そ の 他
う 資 本 的 支 出 わ ま ち 病 院	建 設 改 良 費	新 市 立 病 院 費 建 設 事 業 費	2	0	0	0
			3	185,500	185,500	0
			4	747,700	747,700	0
			5	5,794,000	5,794,000	0
			6	11,963,100	11,963,100	0
			計	18,690,300	18,690,300	0

関する調書

(単位 千円)

前前年度末 までの支払 義務発生額	前年度末まで の支払義務 発生(見込)額	当 該 年 度 支 払 義 務 発生予定額	当該年度末ま での支払義務 発生予定額	翌年度以降 の支払義務 発生予定額	継続費の総 額に対する 進 捗 率	備 考
0			0			
33,918			33,918		0.2%	通次繰越 151,582
	899,282		899,282		4.8%	
		5,794,000	5,794,000		31.0%	
				11,963,100		
33,918	899,282	5,794,000	6,727,200	11,963,100	36.0%	

債務負担行為に関する調書

(単位 千円)

事 項	限 度 額	前 年 度 末 ま で の 支払義務発生（見込）額		当 該 年 度 以 降 の 支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳	
		期 間	金 額	期 間	金 額	企 業 債	事業収益
うわまち病院事業 新 市 立 病 院 開 院 支 援 業 務 委 託	44,770	令和4年度	3,080	令和5年度から 令和7年度まで	41,690	0	41,690
うわまち病院事業 受 電 設 備 工 事 費 負 担 金	39,716	—	—	令和6年度	39,716	0	39,716
うわまち病院事業 有 形 固 定 資 産 購 入 費	5,021,930	—	—	令和6年度から 令和7年度まで	5,021,930	5,021,900	30

令和5年度横須賀市病院事業予定貸借対照表

(令和6年3月31日現在)

(単位 千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

ア 土 地	3,771,065	
イ 建 物	18,344,766	
ウ 構 築 物	708,954	
エ 器 具 及 び 備 品	7,085,788	
オ 建 設 仮 勘 定	6,540,913	
減価償却累計額	△19,145,641	
減損損失累計額	<u>△375,853</u>	<u>13,158,927</u>
有形固定資産合計		16,929,992
(2) 無 形 固 定 資 産		
ア 電 話 加 入 権	<u>3,681</u>	
無形固定資産合計		<u>3,681</u>
固 定 資 産 合 計		16,933,673

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金	8,058,226	
(2) 未 収 金	550,903	
貸 倒 引 当 金	<u>△4,039</u>	546,864
(3) 前 払 費 用		<u>8</u>
流 動 資 産 合 計		<u>8,605,098</u>
資 産 合 計		<u>25,538,771</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 10,282,771

企 業 債 合 計 10,282,771

(2) 引 当 金

ア 退職給付引当金 64,666

引 当 金 合 計 64,666

固 定 負 債 合 計 10,347,437

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 355,377

企 業 債 合 計 355,377

(2) 未 払 金 3,673,682

(3) 未 払 費 用 3,544

(4) 引 当 金

ア 賞与引当金 8,286

イ 法定福利費引当金 1,573

引 当 金 合 計 9,859

(5) 預 り 金 2,650

流 動 負 債 合 計 4,045,112

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

ア 受贈財産評価額 867,350

イ 補 助 金 1,131,279

ウ その他長期前受金 102,291

収 益 化 累 計 額 △1,479,763

長 期 前 受 金 合 計 621,157

繰 延 収 益 合 計 621,157

負 債 合 計 15,013,706

資 本 の 部

6 資 本 金

(1) 資 本 金

12,989,956

資 本 金 合 計

12,989,956

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

ア 受贈財産評価額

2,055,771

イ 補 助 金

17,300

ウ 寄 附 金

1,000

エ 他 会 計 補 助 金

1,987,556

資 本 剰 余 金 合 計

4,061,627

(2) 欠 損 金

ア 当 年 度

未 処 理 欠 損 金

6,526,518

欠 損 金 合 計

6,526,518

剰 余 金 合 計

△2,464,891

資 本 合 計

10,525,065

負 債 資 本 合 計

25,538,771

注記

I. 重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

ア 減価償却の方法	定額法
イ 減価償却の開始時期	事業の用に供した日の属する月から
ウ 主な耐用年数	
建物	6～47年
構築物	10～50年
器具及び備品	4～20年

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。ただし、うわまち病院事業における新市立病院建設事業に従事する職員の退職手当について、一般会計負担とすることとしているため、当該金額については退職給付引当金計上額から除いている。

(3) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金に対応する額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金 8,630千円を使用する。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金 1,620千円を使用する。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当会計は、市民病院、うわまち病院の2つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「うわまち病院事業」の2つを報告セグメントとしている。

各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。

各施設の事業内容は、以下のとおりである。

区 分	事 業 の 内 容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
うわまち病院事業	地域医療支援病院、救命救急センター

2 報告セグメントごとの資産等

当年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

（単位 千円）

	市民病院	うわまち病院	合 計
セグメント資産	6,209,749	19,329,022	25,538,771
セグメント負債	1,909,670	13,104,036	15,013,706
その他の項目 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	338,236	5,570,661	5,908,897

IV. 減損損失

1 グループिंगの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグループングしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用 途	種 類	施設・場所
市民病院	土地、建物、構築物、器具及び備品	市民病院 横須賀市長坂1丁目
遊休資産	土地、建物、構築物	旧太田和医師公舎・看護師宿舎 横須賀市太田和2丁目

市民病院は、業務活動から生じる損益が継続してマイナスとなる状況であるため、減損の兆候を認識しているが、割引前キャッシュ・フローの総額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。

遊休資産は、遊休状態にあるため減損の兆候を認識しているが、正味売却価額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。

令和4年度横須賀市病院事業予定損益計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 千円)

1	医 業 収 益			
	(1) 他 会 計 負 担 金	653,000		
	(2) その他医業収益	<u>38,501</u>	691,501	
2	医 業 費 用			
	(1) 給 与 費	74,278		
	(2) 経 費	3,186,555		
	(3) 減 価 償 却 費	943,560		
	(4) 資 産 減 耗 費	<u>15,000</u>	<u>4,219,393</u>	
	医 業 損 失			3,527,892
3	医 業 外 収 益			
	(1) 受 取 利 息	53		
	(2) 補 助 金	2,890,732		
	(3) 他 会 計 補 助 金	14,000		
	(4) 他 会 計 負 担 金	332,000		
	(5) 長期前受金戻入	68,725		
	(6) そ の 他 医 業 外 収 益	<u>167,848</u>	3,473,358	
4	医 業 外 費 用			
	(1) 支 払 利 息 及 び 企業債取扱諸費	30,495		
	(2) 雑 損 失	<u>24,888</u>	<u>55,383</u>	<u>3,417,975</u>
	経 常 損 失			109,917
5	特 別 利 益			
	(1) 過 年 度 損 益 修 正 益	<u>2,000</u>	2,000	
6	特 別 損 失			
	(1) 過 年 度 損 益 修 正 損	<u>2,000</u>	<u>2,000</u>	0

7 予 備 費

(1) 予 備 費	<u>2,000</u>	<u>2,000</u>	<u>△2,000</u>
当 年 度 純 損 失			111,917
前 年 度			
繰 越 欠 損 金			<u>6,352,449</u>
当 年 度			
未 処 理 欠 損 金			<u><u>6,464,366</u></u>

令和4年度横須賀市病院事業予定貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位 千円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有 形 固 定 資 産

ア 土 地	3,771,065	
イ 建 物	18,100,401	
ウ 構 築 物	708,954	
エ 器 具 及 び 備 品	7,056,684	
オ 建 設 仮 勘 定	1,205,485	
減価償却累計額	△18,587,424	
減損損失累計額	<u>△375,853</u>	<u>8,108,247</u>
有形固定資産合計		11,879,312
(2) 無 形 固 定 資 産		
ア 電 話 加 入 権	<u>3,681</u>	
無形固定資産合計		<u>3,681</u>
固 定 資 産 合 計		11,882,993

2 流 動 資 産

(1) 現 金 預 金	6,119,229	
(2) 未 収 金	142,608	
貸 倒 引 当 金	<u>△4,040</u>	138,568
(3) 前 払 費 用		<u>8</u>
流 動 資 産 合 計		<u>6,257,805</u>
資 産 合 計		<u>18,140,798</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 4,227,847

企 業 債 合 計 4,227,847

(2) 引 当 金

ア 退職給付引当金 48,046

引 当 金 合 計 48,046

固 定 負 債 合 計 4,275,893

4 流 動 負 債

(1) 企 業 債

ア 建設改良費等の財源に
充てるための企業債 429,949

企 業 債 合 計 429,949

(2) 未 払 金 2,366,743

(3) 未 払 費 用 1,677

(4) 引 当 金

ア 賞与引当金 8,630

イ 法定福利費引当金 1,620

引 当 金 合 計 10,250

(5) 預 り 金 2,650

流 動 負 債 合 計 2,811,269

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金

ア 受贈財産評価額 867,349

イ 補 助 金 1,131,279

ウ その他長期前受金 102,291

収 益 化 累 計 額 △1,410,500

長 期 前 受 金 合 計 690,419

繰 延 収 益 合 計 690,419

負 債 合 計 7,777,581

資 本 の 部

6 資 本 金

(1) 資 本 金

12,765,956

資 本 金 合 計

12,765,956

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金

ア 受贈財産評価額

2,055,770

イ 補 助 金

17,300

ウ 寄 附 金

1,000

エ 他 会 計 補 助 金

1,987,557

資 本 剰 余 金 合 計

4,061,627

(2) 欠 損 金

ア 当 年 度

未 処 理 欠 損 金

6,464,366

欠 損 金 合 計

6,464,366

剰 余 金 合 計

△2,402,739

資 本 合 計

10,363,217

負 債 資 本 合 計

18,140,798

注記

I. 重要な会計方針に係る事項

1 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

ア 減価償却の方法	定額法
イ 減価償却の開始時期	事業の用に供した日の属する月から
ウ 主な耐用年数	
建物	6～47年
構築物	10～50年
器具及び備品	4～20年

2 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、貸倒実績率による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当年度末における退職手当要支給額に相当する金額を計上している。ただし、うわまち病院事業における新市立病院建設事業に従事する職員の退職手当について、一般会計負担とすることとしているため、当該金額については退職給付引当金計上額から除いている。

(3) 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金に対応する額を計上している。

3 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜き方式によっている。

II. 予定貸借対照表等関連

1 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

当年度において、期末手当及び勤勉手当の支給に充てるため、賞与引当金 7,628千円を使用する。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

当年度において、賞与引当金取崩しに対応する法定福利費引当金 1,597千円を使用する。

III. セグメント情報の開示

1 報告セグメントの概要

当会計は、市民病院、うわまち病院の2つの施設を運営しており、施設ごとに運営方針等を決定していることから、「市民病院事業」、「うわまち病院事業」の2つを報告セグメントとしている。

各施設については、分離された財務情報が入手可能であり、予算審議及び決算認定をするために、定期的に市議会に報告する対象となっているものである。

各施設の事業内容は、以下のとおりである。

区 分	事 業 の 内 容
市民病院事業	地域医療支援病院、災害拠点病院
うわまち病院事業	地域医療支援病院、救命救急センター

2 報告セグメントごとの事業収益等

当年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

（単位 千円）

	市民病院	うわまち病院	合 計
医業収益	418,773	272,728	691,501
医業費用	2,024,669	2,194,724	4,219,393
医業損益	△1,605,896	△1,921,996	△3,527,892
経常損益	△79,288	△30,629	△109,917
セグメント資産	6,794,828	11,345,970	18,140,798
セグメント負債	2,547,927	5,229,654	7,777,581
その他の項目			
収益的収入他会計繰入金	618,000	381,000	999,000
減価償却費	547,825	395,735	943,560
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	376,528	573,326	949,854

IV. 減損損失

1 グループिंगの方法

キャッシュ・フローを生成する最小単位として病院施設を単位とし、遊休資産については個々の物件単位でグループングしている。

2 減損の兆候について

当年度において、以下の資産グループについて減損の兆候を認識した。

用 途	種 類	施設・場所
遊休資産	土地、建物、構築物	旧太田和医師公舎・看護師宿舎 横須賀市太田和2丁目

遊休資産は、遊休状態にあるため減損の兆候を認識しているが、正味売却価額が帳簿価額を上回るため、減損損失を認識していない。